

## 飯島賢二の 『恐縮ですが...一言コラム』

### 第 388 回 好調「コンビニ」vs 苦戦「デパート」、時代を読むのはどっち??

2010.10.24

日本フランチャイズチェーン協会は 20 日、コンビニエンスストアの 9 月の調査月報を発表し、既存店ベースの売上高は前年同月比 13% 増の 6,958 億円と 3 カ月連続の増加で、来店客数も同 2% 増の 11 億 2,222 万人と 4 カ月連続増となった。また、下がり続けてきた平均客単価は同 11% 増の 620 円と 2008 年 11 月以来の増となった。(店舗数 43,281 店舗) 要因としては、猛暑による飲料、と、たばこの駆け込み需要の影響が大きかったようだ。

このデータから

1 店舗・1 日当りの状況を逆算すると

コンビニ 1 店舗当り 1 日の売上高: 53 万 5,878 円

コンビニ 1 店舗当り 1 日の来店客数: 864.3 人

来店客一人当たり消費額: 620 円 である。

好調なコンビニ業界、24 時間営業で 1 時間平均 36 人の来店がある計算になる。

正直、驚きである。

これに比べ、デパート業界は相変わらず苦戦している。

百貨店は 9 月も猛暑が悪影響で、秋物衣料の不調が続いた。

全国百貨店売上高は、

前年同月比 5.2% 減の 4,463 億円。(店舗数 251 店舗)

前年割れは 31 カ月連続となった。

中旬まで続いた記録的な猛暑の影響で、

本来最盛期の秋物衣料など主力商材が苦戦。

また「円高・株安傾向の息切れ(エコカー補助金の終了など)から、

景気の先行き懸念が再度浮上した」と分析している。

ちなみに、百貨店 1 店舗当り 1 日の売上高、5,926 万 9 千円となる。

東京銀座「三越」を始め、デパートのイノベーション合戦が話題になっている。

しかし実態は、コンビニが、デパート全体の 1.56 倍の売上を実績している。

更に、国民の 6 割を超える人々が利用する巨大なサービスへと成長したネットショッピング。

ネットショッピング市場の成長率は 2001 年を軸に比較すると、

2007 年には 6.9 倍に成長。また、モバイルの国内 E コマース市場は 41.8 倍にも成長している。

インターネットショッピングの売上が、もうすぐ、デパート全体の売上を抜こうとしている。

デパートは今様消費者の、何をサービスしようとしているのか?

いつまでも、小売の王者「大規模小売店舗」と意識している限り、

まだまだ苦難な道が続くだろう。

小売業の根本的変容を、どこまでカバーできるか? 必死の競合時代である。

#### 【参考】

JFA コンビニエンスストア統計調査月報(2010 年 9 月度)より

[http://www.jfa-fc.or.jp/misc/static/pdf/cvs\\_2010\\_9.pdf](http://www.jfa-fc.or.jp/misc/static/pdf/cvs_2010_9.pdf)

全国百貨店協会売上高統計(9 月度)

[http://www.depart.or.jp/common\\_department\\_store\\_sale/view\\_past\\_data?month=09&year=2010](http://www.depart.or.jp/common_department_store_sale/view_past_data?month=09&year=2010)